



目を覚ませ、 山形の眠れる文化財！

ぶんかざいかふえ。



動機

私達は文化財修復に目を向けた

理由：ニュースで文化財を管理する人の負担を知り、文化財に対して興味を持ち、調べるうちに文化財修復者の存在を知ったから。

・文化財は予算が足りていない！

国では修復件数に目安がある。それに応じて資金が給付される。しかしその資金が、修復を必要とする文化財をすべて修復するには少ない。

個人でも維持管理の経費が多いため、保存を断念する人も...

・知名度が低い！

文化財に対して、人々の興味関心が薄い。また、SNSに投稿して知名度UPのために活動する団体が多くある。

しかしまだ効果が十分ではない。

理想～文化財のあるべき姿～

資金が十分
にある

保存修復が
行き届いてい
る

多くの人が
文化財の正しい
価値を理解する

文化財への関
心を増やす

修復者が
十分にいる

そこで私達は、、、



「ぶんかざいかふえ。」を提案します！

キッチンカーで
移動する！

カフェにしたわけ

- ・カフェは若者や高齢者など幅広い年代が親しみやすい
- ・カフェのついでに文化財に立ち寄れる(キッチンカーで移動可能にすることで、期間ごとに色々な文化財のもとでぶんかざいかふえ。を開催し、人々の文化財への関心を高めるとともに地域の活性化をはかる。)
- ・新たなコミュニティの場になる

「ぶんかざいかふえ。」とは

- ・文化財をモチーフにしたスイーツを食べられる
- ・レベル別の修復体験ができる
- ・お菓子やグッズを売る

例えば...

文化財をかたどったクッキーなどをバラバラにしたあと、チョコペンなどでくっつける体験
➡解体や組み付けの作業を模したもの

本格的な文化財修復を体験してみよう!

etc...

「山形満開サイダー」 試作してみました!



パインサイダーとスイカサイダー、紅花などを使っています。

ぶんかざいかふえ。のその他の役割



ぶんかざいかふえ。

文化財は、歴史的価値のあるもの。
私たちに、古の技術や文化を教えてくれる。
それだけじゃない。文化財には、先人たちの様々な
想いが込められている。
文化財を失うことは、文化を失うこと。長い間受け
継がれてきたものを失うこと。
だから、修復して、未来に残していく。
それが今の私たちにできること。
ただ、知ってくれるだけでもいい。
ここに来てくれたあなたが、文化財を大切なものだ
と思ってくれたら、うれしいです。



文化財修復数を増やすには、たくさんの人に文化財の重要性を正しく理解してもらうことが重要

商品を提供するときに使うランチョンマットや紙袋などに、文化財の価値を伝える文を書くという工夫をする(左図参照)

←ランチョンマットの例

ぶんかざいかふえ。がもたらす効果

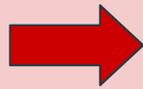
文化財、文化財
修復の価値の
理解

文化財、文化財
修復への
興味関心の高まり

修復者の
増加

修復の現状の
広い認知

修復の楽しさ
が伝わる

 山形の文化財を未来に遺し、繋いでいく